



2023年2月8日  
 株式会社 愛知銀行

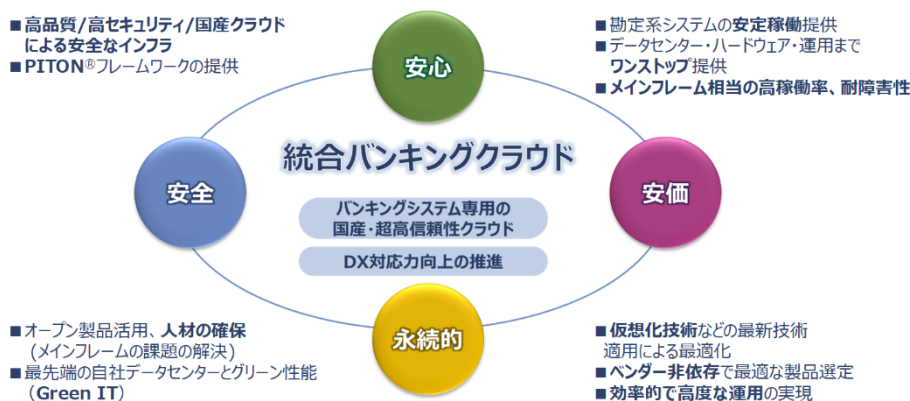
## 地銀共同センターの次期勘定系システム基盤について ～国内初のオープン系共同利用型クラウド基盤「統合バンキングクラウド」の適用～

株式会社愛知銀行（頭取 伊藤 行記）は、地銀共同センター<sup>※1</sup>参加行とともに、次期勘定系システム基盤に関して、NTTデータとともに国内初となるオープン系共同利用型クラウド基盤「統合バンキングクラウド」とする方針を確認し、2028年の第一号の適用に向け、今後、参加行と協力して取組みを進めてまいります。

### 記

#### 1. 概要

当行を含む地方銀行13行からなる地銀共同センターでは、NTTデータと共に「オープン基盤」、「業務アプリケーション継承」、「コミュニティクラウド」の3つの基本方針に沿って次期勘定系システム基盤の検討を進めてきましたが、この度、国内初となるオープン系共同利用型基盤である「統合バンキングクラウド」上に勘定系システム基盤を適用・構築していくことといたしました。これにより、より安心・安全なシステムを利用しつつ、オープン化による勘定系システムの軽量化を図るとともに経営資源を戦略領域に集中することで、お客さまに付加価値の高いサービスの提供を目指します。



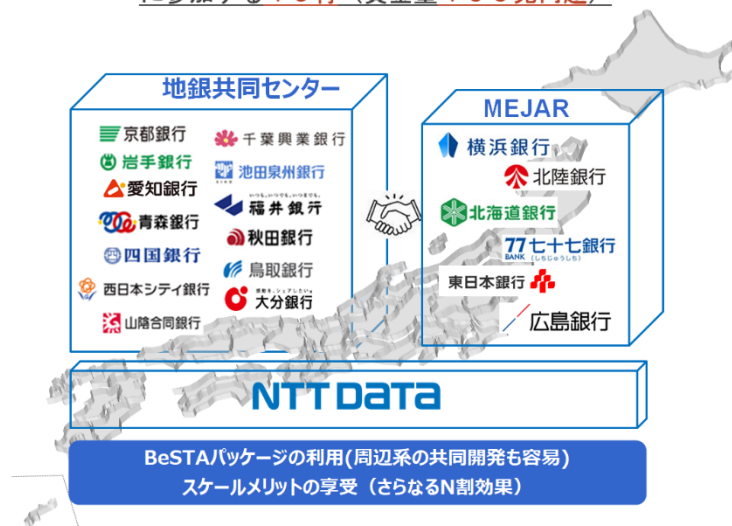
この取組みは、横浜銀行をはじめ地方銀行6行からなるMEJAR(メジャー)<sup>※2</sup>との共同研究会「CMS-WG」<sup>※3</sup>の主要テーマである「勘定系システムの効率的運用」の実現に向けた取組みの一環で、2024年1月に「PITON®(ピトン)」<sup>※4</sup>を採用してオープン基盤に移行したMEJARの先行事例等も取り入れることにより、他金融機関の移行についても安心・安全に実現可能なスキームとなっております。

## 2. 今後の予定

地銀共同センターの勘定系システムは、2028年に第一号となるオープン系共同利用型基盤「統合バンキングクラウド」の適用を目指し、引き続き、共同研究会「CMS-WG」の中で勘定系システムに留まらない付加価値の高い共同利用型のサービス提供に向けた検討を継続します。

<ご参考>

「地銀共同センター・MEJAR システム・ワーキンググループ」  
 に参加する19行(資金量100兆円超)



- ※1 NTTデータが構築・運営する、地方銀行・第二地方銀行向け基幹系共同センター。
- ※2 NTTデータが構築・銀行が主体で運営する、地方銀行・第二地方銀行向け基幹系共同センター。
- ※3 システム関連で親和性のある両センターがそれぞれの強みを生かし、参加行共通の課題に対するシステム運用の効率化を検討する場。
- ※4 「PITON®」は株式会社NTTデータの登録商標です。

以上